

H17/4-H18/7: 理研基礎特研として理研ポスドク



基礎科学特別研究員制度

基礎科学特別研究員の年齢制限の35歳で応募し採択された

3年間のポスト

独立行政法人理化学研究所は、当研究所において自由な発想で主体性を持って基礎研究を強力に推進する若手研究者を、平成25年度の基礎科学特別研究員として募集します。

- 採用予定人数 35名程度
受入機関 独立行政法人理化学研究所
募集分野 物理学、化学、生物・医科学、工学の科学技術分野で、当研究所の研究領域に関連性を有するもの。
応募資格 下記(1)～(3)の条件を全て満たす者であること。
- (1) 研究計画に基づき、その研究を主体的に遂行する意志のある者。
 - (2) 原則として平成19年度(平成19年4月1日)以降に自然科学の博士号を取得した若手研究者(平成25年3月31日までに取得見込の者を含む)。
 - (3) 日本国の永住許可を与えられた者。または、日本国の大学院博士課程を修了(見込みを含む)し、博士号を取得(見込みを含む)の者。
- *平成19年度以前に博士号を取得した者及び研究経歴等について特に申請すべき事由がある者は、申請書の特記事項欄に記載のこと。
- 待遇等 (平成23年度実績)
①給与:月額487,000円(社会保険料、税込) ②通勤手当:実費(上限45,000円/月)
③住宅手当:家賃の一部支給 ④研究費:1,000,000円/年



自分の研究(V-ATPaseの研究)を継続することができるポジション!

若手支援の一環として、海外進出組を受け入れる枠組みも重要

H17/4-H18/7: 理研基礎特研として理研ポスドク

タンパク3000プロジェクト推進委員会

横山茂之研究室に所属

若手Bに採択された!

許取得支援体制

● 中核機関
○ 参画機関

北海道大学
転写・翻訳
細胞内シグナル伝達

研究費獲得は研究者としての重要な評価基準

提案

ポスドク等の期限付き研究者の科研費の枠組みとして
自分の給料に充てる事ができるシステムの導入
(海外組もアプライ可能にできないか)

ミニ基礎特研、ミニさきがけ、ミニ学振(PD、海外)に相当。
研究内容の自由度はそのままに(年齢制限もなし)

サラリーが確保できていれば、ビックラボほど受入可能

自分のアイデアで研究を進めることが可能となる!(半独立的)

個別的解析(500)

大阪大学
京都大学
タンパク質高次構造

高エネルギー加速器
研究機構
(フォトンファクトリー)
翻訳後修飾と輸送

DNAの

転写・翻訳

理化学研究所
ゲノム科学総合研究センター
大型放射光施設(SPring-8)

H18/8-H19/6: JST ERATOのグループリーダー



研究員2名、技術員1名のグループを持つことができた！

岩田ヒト膜受容体構造プロジェクト 5年間プロジェクト



研究総括 岩田 想
(京都大学医学研究科 教授/インベリアルカレッジロンドン分子生命科学科 教授)
研究期間 2005年9月～2011年3月

はじめてV型ATPase以外の研究テーマをもつ

特定領域研究(公募班)に採択された！

異分野の研究者と交流ができ、有意義。新しい共同研究を開始。

H19/7-H21/3: 京大・医の助教兼グループリーダー

岩田先生が京大・医の教授となり、助教にしてもらった。

単身赴任生活;レオパレス



毎週金曜日一日曜日の往復生活
首都圏の研究場所を探し始める

片道5時間

ターゲットタンパク研究に採択された！

これによりV型ATPaseの研究も継続できた。

